

2020

新年度号

小森谷まさる市政報告

公明党市議会議員(見沼区) 発行者:小森谷優 さいたま市見沼区中川 545-30 TEL048-688-1047

さいたま市議会 令和2年2月定例会(2/4~3/19)報告

市民生活委員会で議案外質問

「空き家の適正管理と活用」「自転車事故の防止」を訴える

固定資産税の納税通知書に空き家に関する様々な情報を同封したり、空き家を利用して転入してくる方に助成金制度を用意したり、危険な空き家を取り壊す費用を借り入れた場合に利子補給する制度を作ったり、空き家についての情報サイトを開設したりして成果を上げてきた山形県酒田市の例をもとに、さいたま市でも10年後に想定されている人口減少に備えた空き家の積極的活用を検討すべきである等の提案を行いました。



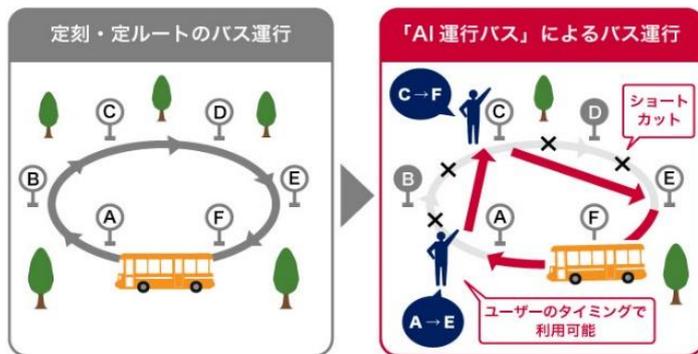
毎年、市内で自転車事故が多発しています

平成31年には市内で自転車による交通事故は1067件も発生しています。原因は、自転車の急な進路変更、一時不停止、横断歩道での歩行者との接触などです。そこで自転車は歩行者ではなく車両であることを通行の現場で具体的な形で啓発すべきであると提案しました。

令和2年度 AI 運行バスの実証実験へ！

「AI 運行バス」とは、乗りたいときに行きたい場所まで、自由に移動できるオンデマンド型公共交通システムです。AI（人工知能）を使い、リアルタイムに発生する「乗降リクエスト」から、最適な乗り合わせを判断し、「車両配車+運行の指示」を行うことにより、利用者にとって効率的な移動を実現します。

AI を活用したデマンド型乗合バスの実証運行がついに実現！



高齢者のおでかけを全力サポート

スマホアプリ (Smartphone app)

AI

まちかど端末 (Terminal)

電話 (Phone)

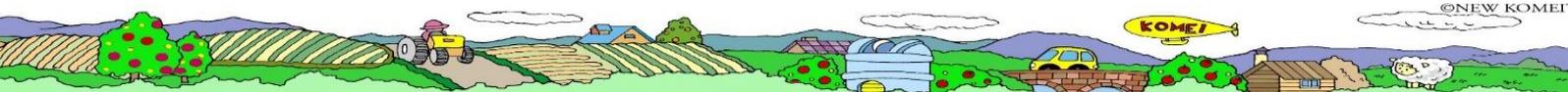
バスが来たら乗車 (Board the bus when it arrives)

XXで2名乗車 (2 passengers with XX)

※バス停での乗車又は、あらかじめ予約登録した地点からの乗車が可能 (Boarding at bus stops or from pre-registered points is possible)

乗りたいときに、乗りたい場所で、
誰でも簡単に乗車予約。

利用者の移動に必要な乗降ポイント間のみを走行するため効率的な運行が期待されます。利用者の有無にかかわらず定時・定路線を走るバスなどに比べ、利用のない区間の走行が不要になるため走行距離や運行時間の効率化も見込めます。



令和2年度予算に盛りこまれた小森谷まさるの提案

(主な新規・拡大事業)

【拡大】ICTを活用したアクティブラーニングの推進

令和元年度、約1億1千万円⇒令和2年度、約3億3百万円

《令和元年9月代表質問》

「学校ICT環境の整備について、特に、児童生徒用の学習用コンピューターの整備については、全国20政令市中19位ということになっており危機感を持って取り組むべきである」などと強く訴えました。令和2年度は中学校21校、小学校35校にタブレット型コンピュータ等が整備されることに。



【拡大】既存ブロック塀等改善事業

令和元年度、3,000万円⇒令和2年度、5,781万円

《平成30年9月代表質問》

平成30年6月に発生した大阪北部地震を受け、通学路に面した民間所有のブロック塀についても安全対策推進のための除却・改修への助成制度を提案しました。助成制度は令和元年度に実現、そして令和2年度はさらに拡充へ。



【拡大】生活困窮者学習支援事業

令和元年度、約7,657万円⇒令和2年度、8,559万円

《平成30年9月代表質問》

子供の貧困対策の拡充について、既に行われている高校進学と中退防止に重点を置いた対策についても基礎学力の問題があることから、小学生時代から学習習慣を身につけることが肝要であり、小学生を対象とした学習支援を実施すべきであると提案。令和2年度は中高生対象の学習支援教室の開催とともに試験的に小学生に対する学習支援教室も開催することに。



【新規】(仮称)福祉丸ごと相談センターの創設

令和元年度、0円⇒令和2年度、197万円

《平成30年9月代表質問》

多様化、複雑化している福祉ニーズに対応するために、高齢、障害、子育て、生活困窮等の各分野の垣根を越えた包括的な相談支援体制の構築が必要であり、区役所に福祉コンシェルジュを設置すべきと提案。令和2年度は、試験的に浦和区役所において相談支援包括化推進員を配置し(仮称)福祉丸ごと相談センターを創設することに。



◆ほかにも小森谷まさると公明党さいたま市議団の提案・要望が令和2年度予算には数多く盛り込まれています。

災害対策では液体ミルクの備蓄や防災情報を電話やFAXで配信するサービス、指定避難所となる市立高校の体育館へのエアコン設置、子育て支援では、宿泊型・デイサービス型産後ケア事業、新生児聴覚検査への助成制度、高齢者には、様々なお役立ち情報を提供する新しい「長寿応援手帳」の配布など多岐にわたっています。

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に

さいたま市
議会議員

小森谷 まさる

TEL 048-688-1047

FAX 048-684-5392

E-mail: komoriya@komei-saitamacity.com

HP: http://komoriyamasaru.com/